

■地域名 上田市 秋和

■特徴的な被害対策 生息環境整備と集落防護柵の設置による対策

1 地域の概要

集落戸数	うち農家	加害鳥獣	被害農作物等	備考
		イノシシ	水稻・市街地への出没	

3 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント
これまでの経過	<p>上田市街地北西の千曲川から太郎山に至る南北に細長い集落 太郎山麓から市街地へのイノシシの出没と農作物被害 H21年度から上田市が地元自治会へ森林整備を推進(今年度実施中) H22年度 自治会の山林委員からイノシシ被害対策には、森林整備に引き続き、防護柵の設置が必要だが、設置には地区の協力がいるので、地元の住民の意識を高めるために研修会を開催したいと申し入れあり H22.12.7 上田市と対策チームにより公民館において地元住民 40 名を対象に学習会開催。その後地元で防護柵の設置を進めることに賛同が得られ、自治会役員において、たたき台を作成することに決定 H22.12.21 地元役員 6 名と上田市、対策チームにより現地踏査 地形や既存の工作物などを勘案して防護柵の設置場所の原案を作成、</p>
被害対策	<p>生息環境対策 H22年度 里山整備により、集落背後の森林を全面的に整備(間伐)</p> <p>防除対策 H23年度事業で集落防護柵(恒久柵)整備予定</p>
効果	<p>被害状況 里山の環境が変わったことにより出没状況が変化するかどうかは、これから</p> <p>その他特記事項 自治会の役員にリーダー的な方がおり、積極的に集落全体を引っ張っていったことで、集落全体で目的や取り組みに対する共通認識が生まれた。</p>
農家の方からのコメント	<p>緩衝帯だけではなく、防護柵の設置の必要性が理解できた。 地域全体に防護柵の設置の必要性を理解してもらえたのではないかな。</p>

4 これからの課題

失敗した事柄	
これからの課題	<p>自治会全体に占める農業者の人口が %程度であり、農業者への関心は高いが、それ以外の住民への理解はそれほどではない。 隣接して両側に被害集落があり、隣接集落と足並みをそろえて柵を設置できるか</p>

5 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害対策支援チーム	
---------------	--

6 問合せ先

上小地区野生鳥獣被害対策チーム 電話 0268-25-7137(林務課直通)

メール josho-rimmu@pref.nagano.jp

